

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 12 月 8 日 (2016.12.8)

【公開番号】特開 2014-173895 (P2014-173895A)

【公開日】平成 26 年 9 月 22 日 (2014.9.22)

【年通号数】公開・登録公報 2014-051

【出願番号】特願 2013-44508 (P2013-44508)

【国際特許分類】

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 T 7/00 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

A 6 1 B 6/00 3 0 0 W

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 10 月 25 日 (2016.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放射線撮影装置において、
被写体を透過した放射線を検出し、電気信号に変換する放射線検出部と、
放射線受光面以外の部位に開口部を有し、前記放射線検出部を収納する筐体と、
前記開口部に取り付けられるカバー部材と、
前記開口部の周縁部に配置された、当該装置の内部と前記開口部との間をシールするための第 1 のシール部材と、
前記カバー部材の内側に配置された、前記カバー部材の内部と前記開口部との間をシールするための第 2 のシール部材とを有し、
前記カバー部材から押圧を受けることで、前記第 1 のシール部材および前記第 2 のシール部材による当該装置の密閉性を向上することを特徴とする放射線撮影装置。

【請求項 2】

前記開口部には所定の機器を収納可能とするホルダを有し、
前記第 1 のシール部材は、前記開口部の周縁部と前記ホルダとの間に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線撮影装置。

【請求項 3】

前記第 2 のシール部材は、前記カバー部材と前記ホルダとの間に配置されることを特徴とする請求項 2 に記載の放射線撮影装置。

【請求項 4】

前記第 1 のシール部材及び第 2 のシール部材がそれぞれ前記ホルダと当接することで、当該装置と前記所定の機器の収納部が密閉されることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の放射線撮影装置。

【請求項 5】

前記所定の機器はバッテリーであって、前記バッテリーと前記カバー部材が一体で構成されることを特徴とする請求項 2 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の放射線撮影装置。

【請求項 6】

前記ホルダは、前記カバー部材を固定するためのロック手段を少なくとも１つ有し、前記ロック手段は、前記開口部の内側で前記第１のシール部材と前記第２のシール部材との間の空間に配置されていることを特徴とする請求項２～５のいずれか１項に記載の放射線撮影装置。

【請求項７】

前記ロック手段を複数個有し、それぞれが独立に摺動可能であることを特徴とする請求項６に記載の放射線撮影装置。

【請求項８】

前記ロック手段を解除すると、前記カバー部材が浮き上がらせるポップアップ機能を、前記第１のシール部材と前記第２のシール部材が有することを特徴とする請求項６又は７に記載の放射線撮影装置。

【請求項９】

前記カバー部材の着脱を検知する検知センサを有し、前記カバー部材が離脱され、又は前記カバーが正常に取り付けられていないと検知したときには、当該装置は動作しないようにすることを特徴とする請求項１～８のいずれか１項に記載の放射線撮影装置。

【請求項１０】

前記第１のシール部材は、弾性部材または粘着体であることを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載の放射線撮影装置。

【請求項１１】

少なくとも前記第１のシール部材は、弾性部材であることを特徴とする請求項１～９のいずれか１項に記載の放射線撮影装置。

【請求項１２】

被写体を透過した放射線を検出し、電気信号に変換する放射線検出部と、
開口部を有し、前記放射線検出部を収納する筐体と、
前記開口部に着脱可能に固定されるカバー部材と、
前記開口部の周縁部に配置され、前記筐体の内部と外部とを隔てる第１の部材と、
前記カバー部材の内側に配置され、前記カバー部材から押圧を受けた状態で前記カバー部材の内部と前記筐体の外部とを隔てる第２の部材と、を有することを特徴とする放射線撮影装置。

【請求項１３】

前記開口部に設けられ、所定の機器を収納するホルダを有し、
前記第１の部材は、前記開口部の周縁部と前記ホルダとの間に配置されることを特徴とする請求項１２に記載の放射線撮影装置。

【請求項１４】

前記第２の部材は、前記ホルダと前記カバー部材との間に配置されることを特徴とする請求項１３に記載の放射線撮影装置。

【請求項１５】

前記所定の機器はバッテリーであって、前記バッテリーと前記カバー部材が一体で構成されることを特徴とする請求項１３又は１４に記載の放射線撮影装置。

【請求項１６】

被写体を透過した放射線を検出し、電気信号に変換する放射線検出部と、
開口部を有し、前記放射線検出部を収納する筐体と、
前記開口部に設けられるホルダと、
前記ホルダに着脱可能に固定され、カバー部材とバッテリーを含むバッテリー部と、
前記開口部の周縁部と前記ホルダとの間に配置され、前記筐体の内部と外部とを隔てる第１の部材と、
前記ホルダと前記バッテリー部との間に配置され、前記バッテリー部から押圧を受けた状態で前記筐体の内部と外部とを隔てる第２の部材と、を有することを特徴とする放射線撮影装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記を達成するために本発明は放射線撮影装置において、被写体を透過した放射線を検出し、電気信号に変換する放射線検出部と、放射線受光面以外の部位に開口部を有し、前記放射線検出部を収納する筐体と、前記開口部に取り付けられるカバー部材と、前記開口部の周縁部に配置された、当該装置の内部と前記開口部との間をシールするための第1のシール部材と、前記カバー部材の内側に配置された、前記カバー部材の内部と前記開口部との間をシールするための第2のシール部材とを有し、前記カバー部材から押圧を受けることで、前記第1のシール部材および前記第2のシール部材による当該装置の密閉性を向上することを特徴とするものである。